

## '62 Vintage Jazz Bass



# \* Jazz Bass

プレシジョンベースのグレードアップバージョンとして世に送り出されたのがジャズベース。その違いは、まずネック形状の変化があげられます。プレシジョンの太くかつローからハイまでグリップのあまり変化しないネックに対し、ジャズベースはベークシストがかつて慣れ親しんだ、弾き易さを感じ得るローズウッド・フィンガーボードでウッドベーススタイルのテーバーの強いものに変更されました。

次にボディについては当時、同時進行で開発されていたストラトキャスターのグレードアップモデル“ジャガー”及びその前身である“ジャズマスター”の影響を受け、プレシジョンの普及で変化した、ベークシストのプレイングスタイルに、よりマッチする平行四辺形のオフセットウエスト・コンタートボディが採用されました。

ピックアップについてはさらに斬新な試みがなされ、プレシジョンで高い評価を得たダブルポールピース・システムはそのままに、2個1組であったピックアップを1つにまとめてトーンレンジを拡げるとともに、これを逆相に2個マウントし、それによって一度は失われたハムキャンセリング効果を再び取り戻し、それぞれのピックアップにボリュームとトーンをコントロールさせることで、無限とも云えるサウンドバリエーションを実現しました。

ジャズベース、その誕生は1962年、そしてラヴインテージシリーズに残されたのは、その最も初期のオリジナルにのみマウントされた2連コントロールのモデルです。

### Pickups

2 separate single-coil (Series-wired, diametrically phased)

### Controls

2 Volume, 2 Tone

### Scale Length

34" (863.0mm)

### Fretboard

Rosewood

### Frets

20 Vintagestyle

### Radius

7.25" (184.2mm)

### Body Material

Alder

### Colors

800, 806, 841

